

# みかさコミスクだより

～三笠小学校コミュニティスクール～



第1回学校運営協議会より

第1回 5月17日  
学校経営についての説明

「一人一人が輝く学校」  
～なりたい自分になるために！～

学校長より、今年度の学校経営について説明しました。学校運営協議会委員の方々から承認いただきました。学校と地域との協働活動として何ができるのかを話し合いました。活字離れ・公民館の使い方・地域づくり・車で送迎等が話題にのぼりました。

第2回 5月30日  
スポーツデー参観

「正々堂々 全力勝負！みんなが  
主役だ かがやけ三笠っ子！」  
～ゴールと自分を超えていけ～

低学年と高学年に分かれ、午前・午後の2部構成で行いました。働き方改革に伴う行事の精選と、限られた時間の中での児童の活動にご理解いただきました。生き生きと活動する児童の様子、児童のリーダーシップや自主的な行動に称賛の声をいただきました。

第3回 10月4日  
児童による学校説明・地域交流

「地域の方々に自分の夢と  
三笠小のよさを伝えよう」

6年生の代表児童が夢を語り、学校の現状や課題、取組について説明しました。グループでの協議では「遊べる遊具が少ない」「階段が古くて補修してあるが危ない」「グラウンドの水はけが悪く授業や遊びに支障が出ている」「体育館にエアコンをつけてほしい」等の要望を伝えアドバイスを受けていました。

# 児童と地域の方々との話し合い



## 地域と共に考える学校づくり

社会に開かれた学校を目指して、三笠小学校は、コミュニティスクールとして、地域と連携・協働して、学校づくりを進めています。今年度の学校運営協議会は、18名で構成され、必要に応じて、児童も参加するスタイルをとっています。

児童の様子や学校の実態を把握できるように、授業や行事の参観を企画し、熟議を通して、学校のためにできること、子供たちのために連携できることを探っています。

子供たちからの要望は、さっそく実現しました。1ヶ月たないうちに、水はけの悪いグラウンドに土が運ばれてきました。鉄棒の下に土が盛られ、足場がよくなりました。感謝いたします。

## 「なりたい自分になるために」

6年生の児童たちは、初めての試みとなる地域の方々との交流を楽しみにしていました。自分たちの考えを伝え、一緒に考えていく活動は、子供たちを地域の参画者として意識づけるものとなりました。「学校をよりよくする」ことは「地域をつくる」ことにつながっていること



に気付いたようです。市民性育成の良い機会となりました。

子供たちの夢は、大きく広がっています。自分の得意なことをいかす仕事、人の役に立つ仕事、人と人をつなぐ仕事。子供たちの夢や希望を語る表情は明るく、きらきら輝いています。学校も、地域の方々も、「なりたい自分になるために」努力する児童を応援しています。

次回の学校運営協議会では、学校評価を予定しています。1年間を振り返って、教育活動や学校運営の状況について評価をいただきたいと思います。



雨上がりのグラウンドで、子供たちがでこぼこをならしています。地域の方々、学校、保護者が協働することで、よりよい学校づくりを推進していきます。コミュニティスクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校のことをいいます。三笠小学校もコミュニティスクールとして、活動の充実を図っていきます。